

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2015 年 2 月 5 日(05.02.2015)



(10) 国際公開番号
WO 2015/015595 A1

- (51) 国際特許分類:
G06Q 40/08 (2012.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2013/070760
- (22) 国際出願日: 2013 年 7 月 31 日(31.07.2013)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人: 楽天株式会社(RAKUTEN, INC.) [JP/JP]; 〒1400002 東京都品川区東品川四丁目 1 2 番 3 号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 上田 憲人(UEDA, Kento); 〒1400002 東京都品川区東品川四丁目 1 2 番 3 号 楽天株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 特許業務法人はるか国際特許事務所 (HARUKA PATENT & TRADEMARK ATTORNEYS); 〒1600023 東京都新宿区西新宿三丁目 1 番 4 号 ウエル新都心ビル 4 階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,

BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

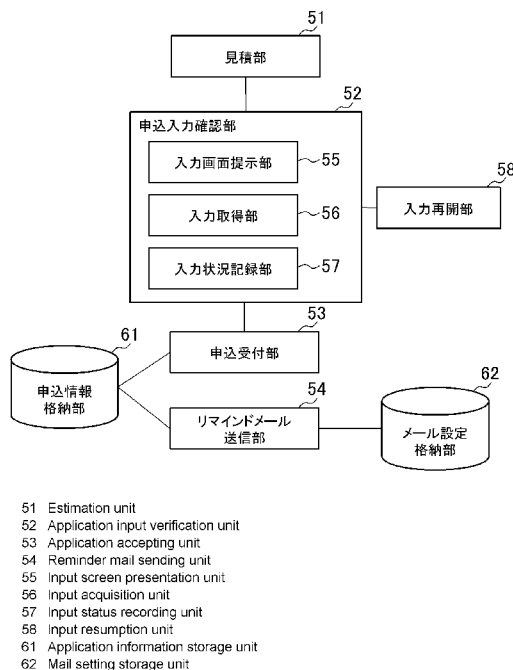
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーロパ (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ユーロパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: INSURANCE APPLICATION SYSTEM, INSURANCE APPLICATION METHOD, PROGRAM, AND INFORMATION STORAGE MEDIUM

(54) 発明の名称: 保険申込システム、保険申込方法、プログラムおよび情報記憶媒体



- 51 Estimation unit
52 Application input verification unit
53 Application accepting unit
54 Reminder mail sending unit
55 Input screen presentation unit
56 Input acquisition unit
57 Input status recording unit
58 Input resumption unit
61 Application information storage unit
62 Mail setting storage unit

(57) Abstract: In order to make the contents of a reminder mail to be sent to a user who has suspended an inputting operation more suitable for the user to resume said inputting, this insurance application system: presents, in order, a plurality of input screens that are to be presented to an applicant and that each include input items; stores, in association with the applicant, input status information indicating the input screen(s) for which the applicant has finished inputting, and the date and time at which said inputting was finished, on the basis of information that has been input by said applicant to any one of the plurality of input screens; and sends, to the applicant's mail address, an email including reminder mail contents corresponding to a contents template associated with the last input screen that has been input by the applicant in cases where, on the basis of the input status information and the date and time associated with the applicant, a remind period has elapsed from the date and time at which the applicant last made an input to one of the plurality of input screens.

(57) 要約: 入力作業を中断したユーザに送信するリマインドメールの文面を、そのユーザが入力を再開させるためにより適切なものとする。保険申込システムは、それぞれ入力項目を有し申込者に提示される複数の入力画面を順に提示し、前記申込者が前記複数の入力画面のいずれかに対して入力された情報に基づいて、前記申込者が入力を済ませた入力画面を示す入力状況情報と当該入力を済ませた日時とを前記申込者に関連づけて記憶させ、前記申込者に関連づけられた前記入力状況情報と前記日時とに基づいて、前記申込者が最後に前記複数の入力画面のいずれかに対して入力した日時からリマインド期間を経過した場合に、前記申込者により入力された入力画面のうち最後のものに関連づけられた文面のひな型

に応じたリマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信する。

明 細 書

発明の名称：

保険申込システム、保険申込方法、プログラムおよび情報記憶媒体

技術分野

[0001] 本発明は保険申込システム、保険申込方法、プログラムおよび情報記憶媒体に関する。

背景技術

[0002] インターネットを用いて保険を申し込むことを可能にするサイトがある。保険の申込みの際には、ユーザは契約者・被保険者情報の入力、意向確認、告知事項の入力、支払方法入力などを行う。この際に、ユーザは場合によっては10ページを超える画面を閲覧し、またそれらの画面に配置されたフォームに対する入力作業を行う必要がある。このように閲覧や入力を行う作業が膨大であるため、告知事項である健康状態を申告する際に通院歴を調べようと作業を中断したり、支払方法を家族と相談するために作業を中断したりすることがある。そのような場合には、作業を中断し、続きの作業に着手しないまま数日が経過することも珍しくない。このようなユーザの申込みを促すために、入力作業を中断してから所定の期間（1週間など）経過した際にリマインドメールを送信する保険会社もある。

[0003] 特許文献1には、学習者の学習の進捗状況に応じたアドバイス文を書き込んだ支援メールを送信することが記載されている。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特開2003-150029号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] 入力作業を中断したユーザに送信するリマインドメールの文面が、各ユーザに入力を再開させるためには必ずしも適切でないことがあった。実際には

、入力作業をどこまで終えているか、どこで作業を中断したかにより、リマインドの際に適したメッセージは異なる。例えば、契約者・被保険者情報の入力の段階で中断した場合には、そもそも保険加入の必要性から改めて説く必要がある。また、支払方法入力の段階で中断した場合には、そのような必要はなく、単に作業完了を促せばよい。

[0006] 本発明は上記課題を鑑みてなされたものであって、その目的は、入力作業を中断したユーザに送信するリマインドメールの文面を、そのユーザが入力を再開させるためにより適切なものとするにある。

課題を解決するための手段

[0007] 上記課題を解決するために、本発明にかかる保険申込システムは、それぞれ入力項目を有し、申込者に提示される複数の入力画面を順に提示する入力画面提示手段と、前記申込者が前記複数の入力画面のいずれかに対して入力する情報を取得する取得手段と、前記取得された情報に基づいて、前記複数の入力画面のいずれかであって前記申込者が入力を済ませた入力画面を示す入力状況情報と当該入力を済ませた日時とを前記申込者に関連づけて記憶させる入力状況記録手段と、前記申込者に関連づけられた前記入力状況情報と前記日時とに基づいて、前記申込者が最後に前記複数の入力画面のいずれかに対して入力した日時からリマインド期間を経過した場合に、前記申込者により入力された入力画面のうち最後のものに関連づけられた文面のひな型に応じたりマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信するリマインド手段と、を含むことを特徴とする。

[0008] また、本発明にかかる保険申込方法は、それぞれ入力項目を有し、申込者に提示される複数の入力画面を順に提示し、前記申込者が前記複数の入力画面のいずれかに対して入力する情報を取得し、前記取得された情報に基づいて、前記複数の入力画面のいずれかであって前記申込者が入力を済ませた入力画面を示す入力状況情報と当該入力を済ませた日時とを前記申込者に関連づけて記憶させ、前記申込者に関連づけられた前記入力状況情報と前記日時とに基づいて、前記申込者が最後に前記複数の入力画面のいずれかに対して

入力した日時からリマインド期間を経過した場合に、前記申込者により入力された入力画面のうち最後のものに関連づけられた文面のひな型に応じたりマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信する、ことを特徴とする。

[0009] また、本発明にかかるプログラムは、それぞれ入力項目を有し、申込者に提示される複数の入力画面を順に提示し、前記申込者が前記複数の入力画面のいずれかに対して入力する情報を取得し、前記取得された情報に基づいて、前記複数の入力画面のいずれかであって前記申込者が入力を済ませた入力画面を示す入力状況情報と当該入力を済ませた日時とを前記申込者に関連づけて記憶させ、前記申込者に関連づけられた前記入力状況情報と前記日時とに基づいて、前記申込者が最後に前記複数の入力画面のいずれかに対して入力した日時からリマインド期間を経過した場合に、前記申込者により入力された入力画面のうち最後のものに関連づけられた文面のひな型に応じたりマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信する、処理をコンピュータに実行させることを特徴とする。

[0010] また、本発明にかかるコンピュータ読取り可能な記憶媒体は、上記プログラムを格納する。

[0011] 本発明によれば、入力作業を中断したユーザに送信するリマインドメールの文面を、よりそのユーザが入力を再開させるために適切なものとしてすることができる。

[0012] 本発明の一態様では、前記リマインド手段は、前記申込者が前記複数の入力画面のいずれかに対して最後に入力した日時から、前記申込者が最後に入力した前記いずれかの入力画面に関連づけられたリマインド期間が経過した場合に、前記リマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信してもよい。

[0013] この態様によれば、ユーザに対してより再開をしやすいタイミングでリマインドメールを送信することができる。

[0014] 本発明の一態様では、前記リマインド手段は、前記申込者が前記各入力画

面に対して入力した時刻に基づいて、当該申込者の入力の手間を短縮する情報を取得し、前記短縮する情報をさらに基づいてリマインドメール文面を生成し、生成されたリマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信してもよい。

[0015] 本態様によれば、ユーザに対して入力を再開する場合の手間がどの程度であるかをより正確に提示することができる。

図面の簡単な説明

[0016] [図1]本発明の実施形態にかかる保険申込システムの構成の一例を示す図である。

[図2]保険申込サーバのハードウェア構成の一例を示す図である。

[図3]保険申込サーバが実現する機能を示す機能ブロック図である。

[図4]保険の申込に用いられる画面の種類の一列を示す図である。

[図5]見積部の処理フローの一例を示す図である。

[図6]見積詳細画面の一例を示す図である。

[図7]ある入力画面にユーザが入力をした際の処理フローの一例を示す図である。

[図8]ユーザ情報の一例を示す図である。

[図9]第1健康状態入力画面の一例を示す図である。

[図10]申込情報の一例を示す図である。

[図11]リマインド送信部の処理フローの一例を示す図である。

[図12]メール設定情報の一例を示す図である。

[図13]リマインドメールの文面の一例を示す図である。

[図14]リマインドメールの文面の他の一例を示す図である。

[図15]入力再開画面の一例を示す図である。

発明を実施するための形態

[0017] 以下では、本発明の実施形態を図面に基づいて説明する。同じ符号を付された構成については、重複する説明を省略する。以下では特に断りのない部分ではインターネット上で生命保険を申込むサービスについて説明するが、

損害保険など他の保険をインターネット上で申込みサービスについても同様の処理を適用できる。

[0018] 図1は、本発明の実施形態にかかる保険申込システムの構成の一例を示す図である。この保険申込システムは、保険申込サーバ1と、クライアント装置2とを含む。これらは、ネットワーク3を介して接続されている。ネットワーク3は、例えばローカルエリアネットワークやインターネットといったものである。

[0019] 保険申込サーバ1は、サーバコンピュータである。保険申込サーバ1は、クライアント装置2からの要求に応じてデータベース等から情報を取得し、取得した情報をクライアント装置2に向けて送信する。クライアント装置2は、例えばスマートフォンやパーソナルコンピュータのようなコンピュータである。ここでは、保険申込サーバ1はウェブサーバプログラム（httpなど）を実行し、ブラウザプログラムを実行するクライアント装置2によってユーザが入力した要求が保険申込サーバ1に送信され、保険申込サーバ1から送信された情報に応じた画面がユーザに提示される。

[0020] 図2は保険申込サーバ1のハードウェア構成の一例を示す図である。保険申込サーバ1は、プロセッサ11、記憶部12、通信部13、入出力部14を含む。

[0021] プロセッサ11は、記憶部12に格納されているプログラムに従って動作する。またプロセッサ11は通信部13、入出力部14を制御する。なお、上記プログラムは、インターネット等を介して提供されるものであってもよいし、フラッシュメモリやDVD-ROM等のコンピュータで読み取り可能な記憶媒体に格納されて提供されるものであってもよい。

[0022] 記憶部12は、RAMやフラッシュメモリ等のメモリ素子やハードディスクドライブによって構成されている。記憶部12は、上記プログラムを格納する。また、記憶部12は、各部から入力される情報や演算結果を格納する。

[0023] 通信部13は、他の装置と通信する機能を実現するものであり、例えば有

線LANの通信用集積回路やコネクタ、無線LANの集積回路やアンテナなどにより構成されている。通信部13は、プロセッサ11の制御に基づいて、他の装置から受信した情報をプロセッサ11や記憶部12に入力し、他の装置に情報を送信する。

[0024] 入出力部14は、表示出力手段をコントロールするビデオコントローラや、入力デバイスからのデータを取得するコントローラなどにより構成される。入力デバイスとしては、キーボード、マウス、タッチパネルなどがある。入出力部14は、プロセッサ11の制御に基づいて、表示出力デバイスに表示データを出力し、入力デバイスをユーザが操作することにより入力されるデータを取得する。表示出力デバイスは例えば外部に接続されるディスプレイ装置である。なお、クライアント装置2も保険申込サーバ1と同様にプロセッサ、記憶部、通信部、入出力部を含む。クライアント装置2に含まれる入出力部は例えばスマートフォンに内蔵されるディスプレイに表示データを出力する。

[0025] 図3は、保険申込サーバ1が実現する機能を示す機能ブロック図である。保険申込サーバは、機能的に、見積部51と、申込入力確認部52と、申込受付部53と、リマインドメール送信部54と、入力再開部58と、申込情報格納部61と、メール設定格納部62と、を含む。また、申込入力確認部52は、機能的に、入力画面提示部55と、入力取得部56と、入力状況記録部57とを含んでいる。これらの機能は、保険申込サーバ1に含まれるプロセッサ11が、記憶部12に格納されたプログラムを実行し通信部13等を制御することにより実現される。

[0026] また、申込情報格納部61は、ユーザが入力した契約者（ユーザ）の情報（契約者情報）や、ユーザが申込む保険プランの情報および告知情報などを格納するデータベースであり、メール設定格納部62は、メール設定情報やメール文面などを格納するデータベースである。申込情報格納部61、メール設定格納部62は、それぞれ保険申込サーバ1の記憶部12を中心として実現されるが、保険申込サーバ1から独立したデータベースプログラムが

実行される他のサーバコンピュータにより実現されてもよい。

[0027] なお、クライアント装置 2 はブラウザプログラムを実行しており、保険申込サーバ 1 から受信したデータに基づいて表示出力デバイスに画像を出力させ、ユーザへ情報を提示する。またクライアント装置 2 は、ユーザからタッチパネルやキーボードなどを介して入力された情報を保険申込サーバ 1 へ送信する。

[0028] 図 4 は、保険の申込に用いられる画面の種類の一例を示す図である。図 4 に示す実線の長方形のそれぞれは、保険申込サーバ 1 が保険の申込の際に出力する画面を示し、実線の矢印は、ユーザが前の画面に入力した内容を修正することなく入力続ける場合の画面遷移を示す。見積入力画面および見積詳細画面は、ユーザが申込を開始する前に保険商品の紹介や提案を行うための画面であり、見積部 5 1 はこれらの画面に関する処理を行う。また、見積詳細画面でユーザが保険の申込を開始する指示をすると、申込入力確認部 5 2 が契約者情報入力画面から最終確認画面までの 1 3 画面を順に用いて申込入力処理を行う。なお、図 4 には入力画面の正方形の左上に通し番号を記載している。また申込入力処理に用いられる画面は、その画面で入力または確認される内容の性質によって 7 つのグループに分けられる。図 4 において 1 または複数の画面を囲む一点鎖のそれぞれはそのグループを示す。

[0029] 保険を申込むユーザが Web サイトから保険の申込をしようとする場合、ユーザには見積入力画面から操作を開始させる。そして、ユーザが最終確認画面で保険の申込を確定する旨のボタンを押下すると、Web サイトにおける保険の申込の作業が終了する。また、ユーザが途中の画面まで入力を完了し、それ以降の入力を中断した場合には、後日に入力再開画面を介してその入力が完了した画面の次の画面から保険の申込の作業を再開することが可能になる。破線の矢印は入力を再開する際の画面の遷移を示している。なお、図 4 では破線の矢印の先は画面のグループになっているが、実際は入力が完了した入力画面の次の入力画面に遷移する。

[0030] 次に、各画面に関する処理を説明する。図 5 は、見積部 5 1 の処理フロー

の一例を示す図である。見積部51は、プロセッサ11、記憶部12および通信部13を中心として実現され、ユーザが入力した見積条件に応じた保険プランを提示する。はじめに、見積部51は、保険申込サーバ1にアクセスするユーザが操作するクライアント装置2に対して、見積入力画面の情報を送信する（ステップS101）。ここで、各画面の情報はHTMLデータであり、この情報はクライアント装置2に実行させるスクリプトの情報も含んでいる。

[0031] 見積入力画面は、見積条件を入力させる画面であり、見積条件として、ユーザの家族構成と、保険に加入済か否かと、生命保険で保険料と補償額のどちらを重視するかと、性別生年月日とを入力させる領域を有する。また、見積入力画面においてこれらの領域に見積条件が入力されると、見積入力画面の情報に含まれるスクリプトを実行するクライアント装置2は、見積条件を保険申込サーバ1に送信する。

[0032] 一方、見積部51はクライアント装置2から送信された見積条件を受信する（ステップS102）。そして、見積部51はその見積条件に応じて提案する保険プランを決定し（ステップS103）、またその決定された保険プランおよび見積条件における保険料を算出する（ステップS104）。そして、決定された保険プランおよび算出された保険料の情報を含む見積詳細画面の情報をクライアント装置2に向けて送信する（ステップS105）。

[0033] 図6は、見積詳細画面の一例を示す図である。見積詳細画面には、保険プランとその保険プランにおける保険料とが配置されている。また、見積詳細画面には、性別や生年月日を修正するための入力領域や、ユーザが保険プランに納得した場合に保険の申込を開始することを指示する申込ボタン33が配置されている。見積詳細画面には、保険プランとして生命保険の複数の商品のそれぞれの欄が表示されており、それぞれの欄には、その商品の名称と、その商品を見積および申込の対象とするか否かを選択するチェックボックスと、その商品の保険金額等を入力する領域と、商品の概要を説明する領域とを含んでいる。また、見積詳細画面にはそれぞれの商品について、ユーザ

の生年月日等により算出された保険料と、それらを合計した合計保険料とを表示する欄も配置されている。

[0034] ユーザが見積詳細画面について何らかの入力操作をすると、クライアント装置 2 はそのユーザにより入力された情報を送信する。そして、見積部 5 1 はそのユーザにより入力された情報を受信し（ステップ S 1 0 6）、その入力された情報がユーザが申込ボタン 3 3 を押下したこと（申込の指示）であれば（ステップ S 1 0 7 の Y）、見積部 5 1 は申込入力確認部 5 2 に始めの入力画面（契約者情報入力画面）を表示させる処理を開始させる（ステップ S 1 0 8）。一方、入力された情報が申込の指示でなければ、入力された情報（例えば生年月日や変更された保証額など）に応じて保険料を算出し（ステップ S 1 0 9）、ステップ S 1 0 5 の見積詳細画面の情報を送信する処理に遷移させ、以降の処理を繰り返す。

[0035] 申込入力確認部 5 2 は、プロセッサ 1 1、記憶部 1 2 および通信部 1 3 を中心として実現される。申込入力確認部 5 2 は、保険の申込を行うユーザに対して複数の入力画面を順に提示し、提示された入力画面に対して入力された情報を取得して申込情報格納部 6 1 に格納させる。以下では、申込入力確認部 5 2 およびそれに含まれる入力画面提示部 5 5、入力取得部 5 6、および入力状況記録部 5 7 の処理について説明する。

[0036] 入力画面提示部 5 5 は、ユーザに複数の入力画面を順に提示する。見積詳細画面でユーザが申込ボタン 3 3 を押下すると、入力画面提示部 5 5 は始めの入力画面（契約者情報入力画面）の情報をユーザのクライアント装置 2 に送信し、また、ユーザの入力に応じてそれ以降の入力画面を順にユーザのクライアント装置 2 に送信する。また、入力取得部 5 6 は、ユーザが提示された入力画面において入力する情報を取得し、入力状況記録部 5 7 はユーザが入力した情報や、その入力を済ました日時をそのユーザと関連づけて申込情報格納部 6 1 に格納させる。

[0037] 以下では、ある入力画面の情報を入力画面提示部 5 5 が送信し、クライアント装置 2 でその入力画面が表示された後に、ユーザがその入力画面に対し

て入力をした場合の処理について説明する。図 7 は、ある入力画面にユーザが入力をした際の処理フローの一例を示す図である。

[0038] はじめに、入力取得部 56 は、表示された入力画面に対してユーザにより入力された情報を取得する（ステップ S201）。入力された情報が、次の画面に遷移する指示を含む場合には（ステップ S202 の Y）、入力状況記録部 57 は、入力フォームやチェックボックスなどに入力された情報に、必須の項目について未入力の項目が存在するか、また入力事項どうしの矛盾といった誤りがあるかについて確認する（ステップ S203）。そして、必須項目が未入力の状態であったり、誤りがある場合には（ステップ S203 の N）、現在の入力画面と同じ画面の情報を再入力のために送信する（ステップ S204）。一方、入力された情報について全ての必須項目が入力されており、誤りがない場合には（ステップ S203 の Y）、入力状況記録部 57 は入力された項目の情報を、その項目が入力された日時（現在日時）とともにユーザに関連づけて申込情報格納部 61 に格納する（ステップ S205）。また入力状況記録部 57 はユーザに関連づけて申込情報格納部 61 に格納された最終入力日を格納または更新する（ステップ S206）。この最終入力日は、はじめの入力画面について入力がされた際に新たに格納され、それ以降は更新される。そして、入力画面提示部 55 は、次の入力画面があればその入力画面の情報を送信する（ステップ S207）。なお、最終の入力画面である最終確認画面について入力取得部 56、入力状況記録部 57 の処理を行う場合には、ステップ S207 の代わりに申込受付部 53 に申込受付の処理をさせ、申込受付部 53 が申込が受け付けられたことを示す画面の情報を送信する。なお、ステップ S202 で次の画面に遷移する指示を含まない場合（ステップ S202 の N）には、前の画面に遷移する指示を含むものとして、入力画面提示部 55 は 1 つ前の入力画面の情報を送信する（ステップ S208）。

[0039] 図 8 は、申込情報格納部 61 に格納されるユーザ情報の一例を示す図である。ユーザ情報は、保険を申込むユーザの契約者情報でもある。ユーザ情報

は、ユーザを特定するためのユーザIDと、メールアドレスと、氏名、生年月日、住所などのユーザの属性を示す情報と、これらの情報を入力した入力日時と、入力画面で最後に入力をした日付（最終入力日）とを含む。入力状況記録部57は、ユーザが契約者情報入力画面に入力した情報をユーザ情報として申込情報格納部61に格納させる。

[0040] 図9は、第1健康状態入力画面の一例を示す図である。第1健康状態入力画面は、生命保険の契約の際に必要な告知事項のうち、健康状態に関する情報をユーザに入力させる画面である。図9では入力する項目は3つであるが、実際には10を超える項目を入力させる。また、ユーザが「次へ」ボタンを押下すると、クライアント装置2は、ユーザがこの入力画面の入力をして次の入力画面へ進む指示の情報と、入力された項目の情報とを送信する。一方ユーザが「前へ」ボタンを押下すると、クライアント装置2は、ユーザが前の入力画面へ戻る指示の情報を送信する。

[0041] 図10は、申込情報格納部61に格納される申込情報の一例を示す図である。申込情報は、ユーザ情報以外の保険申込にかかわる情報であり、ユーザが申込む保険のプラン（商品）に関する情報や、告知事項の情報を含む。申込情報は、あるユーザについて複数の入力項目を含み、そのそれぞれの入力項目について値が記録されている。また、申込情報には、それぞれの入力項目についてその情報が入力された日時（入力日時）も記録されている。図10の例では、あるユーザについての申込情報は、複数のレコードからなり、それぞれのレコードが1つの入力項目に対応している。また、それぞれの入力項目について、その入力項目を入力させる画面の情報も付加されている。また、申込情報は、ユーザが入力フォームやラジオボタン等に入力した情報そのものだけではない。ユーザが入力画面で提示した重要事項説明などを確認し、その上で入力操作を進めるボタンを押下したことを示す情報も申込情報に含まれる。

[0042] ここで、申込情報格納部61に格納されるユーザ情報や申込情報はユーザが入力画面の項目等に入力した情報であるが、これらの情報はどの入力画面

までユーザが入力を済ませたかの入力状況を示す情報でもある。どの入力画面まで入力したかを判断することは、どの入力項目までその値が申込情報格納部 61 に格納されているかを調べることによって可能であるからである。

[0043] 申込情報は、図 10 のような形式でなくてもよい。例えば、ユーザごとに 1 レコードとし、各入力項目の値が羅列されるようなものであってもよい。その場合、入力日時は、入力画面ごとに申込情報に記録されるようになっていてもよい。また、入力状況記録部 57 は、申込情報を、ユーザが申込んだ保険の商品の情報と、告知事項の情報とに分けて申込情報格納部 61 に格納しても良い。

[0044] 申込受付部 53 は、プロセッサ 11、記憶部 12 および通信部 13 を中心として実現される。申込受付部 53 は、ユーザが最終確認画面で「申込を確定する」ボタンを押下し、保険の申込を確定する指示をすると、そのユーザについて申込情報格納部 61 に格納された情報を保険の申込を処理するためのシステムである基幹処理システムに送信する。基幹処理システムでは保険の申込があったことを保険会社の担当者に知らせ、内容の審査など以降の申込の処理を進める。

[0045] 次に、ユーザが入力画面での入力操作を中断した場合の保険申込システムの処理について説明する。リマインドメール送信部 54 は、プロセッサ 11、記憶部 12 および通信部 13 を中心として実現される。リマインドメール送信部 54 はユーザについてリマインド期間に関する条件を満たす場合に、ユーザにより入力された入力画面のうち最後のものに関連づけられた文面のひな型に応じた文面を含む電子メールをユーザのメールアドレスに送信する。リマインド期間に関する条件は、ユーザに関連づけて格納された最終入力日時からリマインド期間が経過することである。リマインド期間は、ユーザが最後に入力した入力画面に応じて定まるものであってもよい。また、リマインドメール送信部 54 は、ユーザが各入力画面に対して入力した時刻に基づいてユーザの入力の速さを示す情報を取得し、その速さを示す情報にさらに基づいてリマインドメール文面を生成してもよい。以下ではこれらの処理

について詳細に説明する。

[0046] 図 1 1 は、リマインドメール送信部 5 4 の処理フローの一例を示す図である。図 1 1 に示す処理フローは、あるユーザについての処理であり、実際には、図 1 1 に示すこの処理は入力を途中で中断している全てのユーザについて毎日実行されている。

[0047] リマインドメール送信部 5 4 は、はじめに、ユーザが最後に入力した入力画面を特定する（ステップ S 3 0 1）。より具体的には、リマインドメール送信部 5 4 は申込情報格納部 6 1 に格納される申込情報やユーザ情報から、入力された入力項目のリストおよびそれらの入力項目が存在する入力画面のリストを取得し、その入力画面のリストのうち順位が最後になる入力画面をユーザが最後に入力した入力画面として特定する。次に、リマインドメール送信部 5 4 は、メール設定情報を格納するメール設定格納部 6 2 から、特定された画面に関連づけられたリマインド期間や曜日条件（設定されている場合）を取得する（ステップ S 3 0 2）。

[0048] 図 1 2 は、メール設定格納部 6 2 に格納されるメール設定情報の一例を示す図である。メール設定情報は各入力画面に関連付けられるメール文面のひな型を示す文面 I D と、その入力画面に関連づけられたメールの送信タイミングを示すリマインド期間および曜日条件と、その入力画面に一般的なユーザが入力する際の入力所要時間である標準所要時間とを含む。リマインド期間は、ユーザが最後に入力画面に入力してからのメールを送信するまでの間隔を示すものである。また、曜日条件は、リマインドメールを送信してよい曜日を示すものである。

[0049] リマインド期間等を取得すると、リマインドメール送信部 5 4 は最終入力日からリマインド期間が経過しているかを判定する（ステップ S 3 0 3）。より厳密には、この処理が実行される日（処理日）が、最終入力日からリマインド期間以上経過しているかを判定する。また曜日条件が指定されている場合には、処理日が最終入力日からリマインド期間以上経過しかつその処理日の曜日が曜日条件に示された曜日であるかを判定する。

[0050] 上述の条件を満たしていると判定された場合（ステップS303のY）には、リマインドメール送信部54はユーザについてのリマインドメールが未送信であるかを判定する（ステップS304）。リマインドメールが未送信であれば（ステップS304のY）、リマインドメール送信部54はステップS305からS310のリマインドメールの送信処理を行う。なお、曜日条件が指定されていない場合、リマインドメールは最終入力日からリマインド期間が経過した日に送信される。

[0051] リマインドメールの送信の処理についてさらに説明する。はじめに、リマインドメール送信部54は、特定された入力画面に関連づけられた文面を取得する（ステップS305）。次に、リマインドメール送信部54は、ユーザ情報や申込情報から取得される各入力画面の入力時刻を用いて、ユーザの入力の速さを取得する（ステップS306）。より具体的には、リマインドメール送信部54は申込情報等から取得され、ユーザが入力を済ませた入力画面のリストに属する入力画面について、その入力画面の入力時刻と、その1つ前の入力画面の入力時刻との差をその入力画面の入力所要時間として取得する。次に、リマインドメール送信部54は、各入力画面について、入力所要時間と、その入力画面に関連づけられた標準所要時間との比を取得する。そして、各入力画面についての比のうち閾値未満のものの平均をとった値をユーザの入力の速さをして算出する。閾値を用いるのは、ユーザの入力作業中に何らかの割込があったために時間がかかってしまったなどの場合に、ユーザの入力の速さが非現実なほど遅く算出されることを避けるためである。

[0052] そして、リマインドメール送信部54は、ユーザの入力の速さに基づいて、残りの入力画面における入力所要時間を予測する（ステップS307）。より詳細には、リマインドメール送信部54は入力が済んでいない入力画面の標準所要時間の和に算出された比をかけた時間を予測される入力所要時間として取得する。

[0053] 次に、リマインドメール送信部54は、ユーザ情報からユーザの氏名やメ

ールアドレスを取得する（ステップS 3 0 8）。なお、リマインドメール送信部5 4は、メールアドレスや氏名を、この申込の祭の入力画面で入力された情報から取得しなくてもよい。もし保険申込システムが他のユーザ認証システムを連携し、入力画面への入力が、ユーザ認証システムへのログイン後に行われているのであれば、ログインしたユーザをユーザ認証システムのユーザIDで特定し、そのユーザIDに関連付けられたメールアドレス等をユーザ認証システムから取得してもよい。

[0054] またリマインドメール送信部5 4は、特定された入力画面に関連づけられた文面のひな型、より厳密には特定された入力画面に関連づけられた文面IDを有する文面のひな型と、取得された氏名や予測された入力所要時間とを用いて、送信用のリマインドメールの文面を作成する（ステップS 3 0 9）。

[0055] そして、リマインドメール送信部5 4は、リマインドメールの文面を作成した後に、生成されたリマインドメールの文面を含む電子メールをユーザのメールアドレスに向けて送信する（ステップS 3 1 0）。

[0056] 図1 3は、リマインドメールの文面の一例を示す図である。この文面は、ユーザが最後に入力した入力画面が契約者情報入力画面や、特約入力画面である場合に送信するリマインドメールの文面の例である。この文面のひな型の文面IDは「m a i l 1 1」であり、ひな型では氏名「楽天太郎」の部分が、ユーザの氏名と置換されるべき箇所であることを示す別の文字列になっている。このように保険の申込の初期の段階では、ユーザは保険の申込を進めるか否か自体を検討している可能性が高いため、リマインドメールの文面は、保険商品そのものを進める文章を主体にしている。また、リマインドメールを送信するタイミングが入力の中断から間がないとユーザが煩わしく感じる可能性があるため、入力の中断から7日後にメールを送信するようにしている。

[0057] 図1 4は、リマインドメールの文面の他の一例を示す図である。この文面は、ユーザが最後に入力した入力画面が第1健康状態入力画面や、第2健康

状態入力画面である場合に送信するリマインドメールの文面の例である。この文面のひな型の文面IDは「mail13」であり、ひな型では氏名「楽天太郎」や、「5分」の部分が、ユーザの氏名や入力所要時間と置換されるべき箇所であることを示す別の文字列になっている。ユーザが告知事項の入力が進めている場合は、ユーザは保険の申込をする意思が強いと考えられるので、保険商品についての説明では無く、単に続いての入力をお願いする文章や、この段階でユーザが抱きやすい疑問への回答などを示した文面になっている。また、日数が経過するほど申込を忘れる可能性が高くなるため、1日など、図13に示すメールより短い期間でリマインドメールを送信するようにしている。

[0058] 保険の申込では、多数の入力画面を用い、またその入力画面によってユーザに要求するものの性質が異なっている。このような特性を有する保険においては、入力画面の進行の度合いによってリマインドのためのメールの文面や送信タイミングを切り替えたりすることが有効である。なお、リマインドメール送信部54は、さらに誕生月の前月の月末などに他の文面を含むリマインドメールを送信してもよい。

[0059] ユーザが、クライアント装置2でこれらのリマインドメールを確認し、申込を再開する場合には、メールに記載された再開用のURLを開く。すると、クライアント装置2は、ブラウザプログラムを用いてそのURLの先にアクセスし、保険申込サーバ1から入力再開画面の情報を取得する。

[0060] 入力再開部58は、プロセッサ11、記憶部12および通信部13を中心として実現される。入力再開部58は、リマインドメールなどに基づいてユーザからのアクセスがあった場合に、ユーザに入力の再開をするか否かを確認する入力再開画面の情報を送信し、入力がされていない入力画面のうち最も前の入力画面からユーザの入力を再開させる。

[0061] 図15は、入力再開画面の一例を示す図である。入力再開画面には、ユーザが申込作業を中断した保険の商品と、中断した日付と、残りの作業の見通しを示す情報とが配置されている。ここでユーザが「申込みを再開する」ボ

タンを押下し、その情報を入力再開部 5 8 が受信すると、申込入力確認部 5 2 に最後に入力した入力画面の次の入力画面以降の処理を行わせる。一方、ユーザが「削除」ボタンを押下した場合には、申込情報格納部 6 1 に格納されたそのユーザの情報を削除する。こうすることで、ユーザは入力が済んだ入力画面をスキップして残りの入力画面に入力することが可能となる。これによりユーザの入力負荷は再開できない場合より軽減される。

符号の説明

[0062] 1 保険申込サーバ、2 クライアント装置、3 ネットワーク、1 1 プロセッサ、1 2 記憶部、1 3 通信部、1 4 入出力部、3 3 申込ボタン、5 1 見積部、5 2 申込入力確認部、5 3 申込受付部、5 4 リマインドメール送信部、5 5 入力画面提示部、5 6 入力取得部、5 7 入力状況記録部、5 8 入力再開部、6 1 申込情報格納部、6 2 メール設定格納部。

請求の範囲

- [請求項1] それぞれ入力項目を有し、申込者に提示される複数の入力画面を順に提示する入力画面提示手段と、
- 前記申込者が前記複数の入力画面のいずれかに対して入力する情報を取得する取得手段と、
- 前記取得された情報に基づいて、前記複数の入力画面のいずれかであって前記申込者が入力を済ませた入力画面を示す入力状況情報と当該入力を済ませた日時とを前記申込者に関連づけて記憶させる入力状況記録手段と、
- 前記申込者に関連づけられた前記入力状況情報と前記日時とに基づいて、前記申込者が最後に前記複数の入力画面のいずれかに対して入力した日時からリマインド期間を経過した場合に、前記申込者により入力された入力画面のうち最後のものに関連づけられた文面のひな型に応じたリマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信するリマインド手段と、
- を含むことを特徴とする保険申込システム。
- [請求項2] 前記リマインド手段は、前記申込者が前記複数の入力画面のいずれかに対して最後に入力した日時から、前記申込者が最後に入力した前記いずれかの入力画面に関連づけられたリマインド期間が経過した場合に、前記リマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信する、
- ことを特徴とする請求項 1 に記載の保険申込システム。
- [請求項3] 前記リマインド手段は、前記申込者が前記各入力画面に対して入力した時刻に基づいて、当該申込者の入力の速さを示す情報を取得し、前記速さを示す情報にさらに基づいてリマインドメール文面を生成し、生成されたリマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信する、
- ことを特徴とする請求項 1 または 2 のいずれかに記載の保険申込シ

ステム。

[請求項4]

それぞれ入力項目を有し、申込者に提示される複数の入力画面を順に提示し、

前記申込者が前記複数の入力画面のいずれかに対して入力する情報を取得し、

前記取得された情報に基づいて、前記複数の入力画面のいずれかであって前記申込者が入力を済ませた入力画面を示す入力状況情報と当該入力を済ませた日時とを前記申込者に関連づけて記憶させ、

前記申込者に関連づけられた前記入力状況情報と前記日時とに基づいて、前記申込者が最後に前記複数の入力画面のいずれかに対して入力した日時からリマインド期間を経過した場合に、前記申込者により入力された入力画面のうち最後のものに関連づけられた文面のひな型に応じたリマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信する、

ことを特徴とする保険申込方法。

[請求項5]

それぞれ入力項目を有し、申込者に提示される複数の入力画面を順に提示し、

前記申込者が前記複数の入力画面のいずれかに対して入力する情報を取得し、

前記取得された情報に基づいて、前記複数の入力画面のいずれかであって前記申込者が入力を済ませた入力画面を示す入力状況情報と当該入力を済ませた日時とを前記申込者に関連づけて記憶させ、

前記申込者に関連づけられた前記入力状況情報と前記日時とに基づいて、前記申込者が最後に前記複数の入力画面のいずれかに対して入力した日時からリマインド期間を経過した場合に、前記申込者により入力された入力画面のうち最後のものに関連づけられた文面のひな型に応じたリマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信する、

処理をコンピュータに実行させるプログラム。

[請求項6]

それぞれ入力項目を有し、申込者に提示される複数の入力画面を順に提示し、

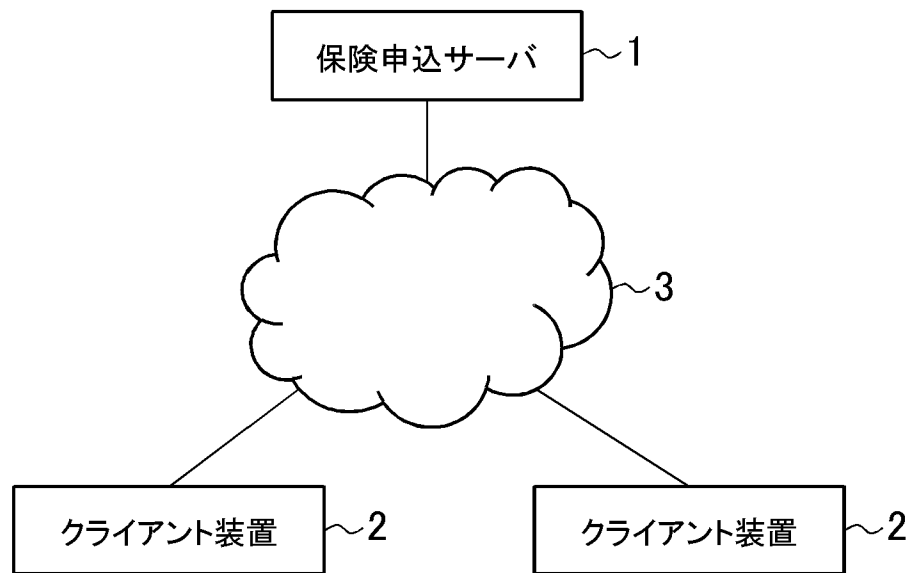
前記申込者が前記複数の入力画面のいずれかに対して入力する情報を取得し、

前記取得された情報に基づいて、前記複数の入力画面のいずれかであって前記申込者が入力を済ませた入力画面を示す入力状況情報と当該入力を済ませた日時とを前記申込者に関連づけて記憶させ、

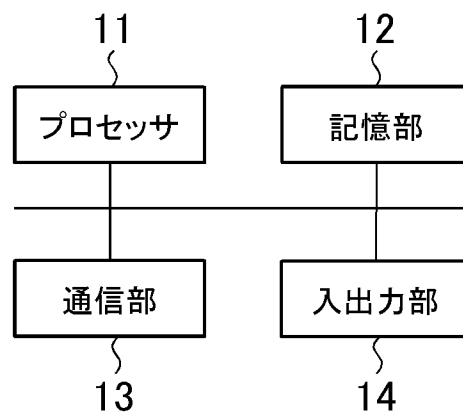
前記申込者に関連づけられた前記入力状況情報と前記日時とに基づいて、前記申込者が最後に前記複数の入力画面のいずれかに対して入力した日時からリマインド期間を経過した場合に、前記申込者により入力された入力画面のうち最後のものに関連づけられた文面のひな型に応じたリマインドメール文面を含む電子メールを前記申込者のメールアドレスに送信する、

処理をコンピュータに実行させるプログラムを格納するコンピュータ読取り可能な情報記憶媒体。

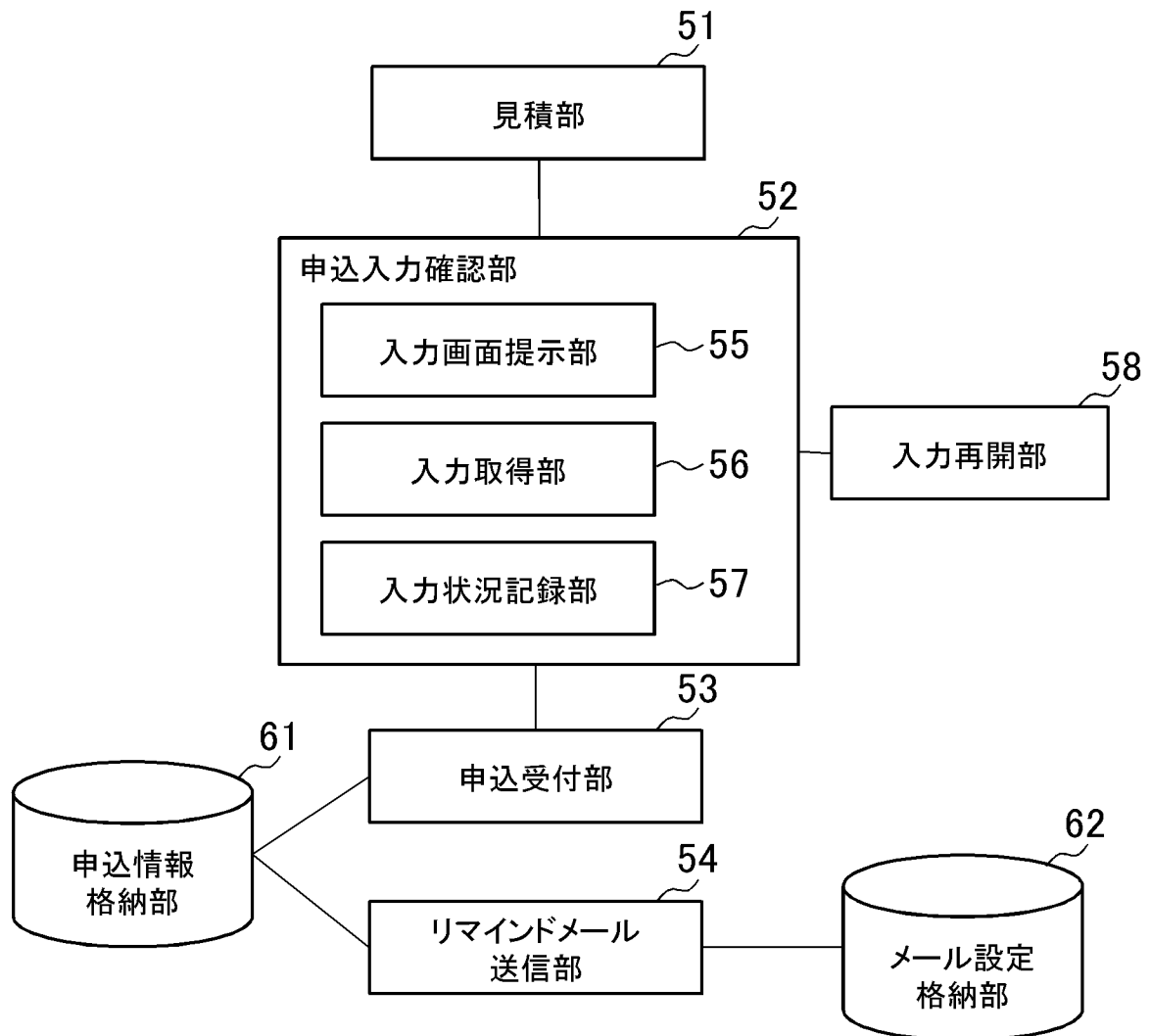
[図1]



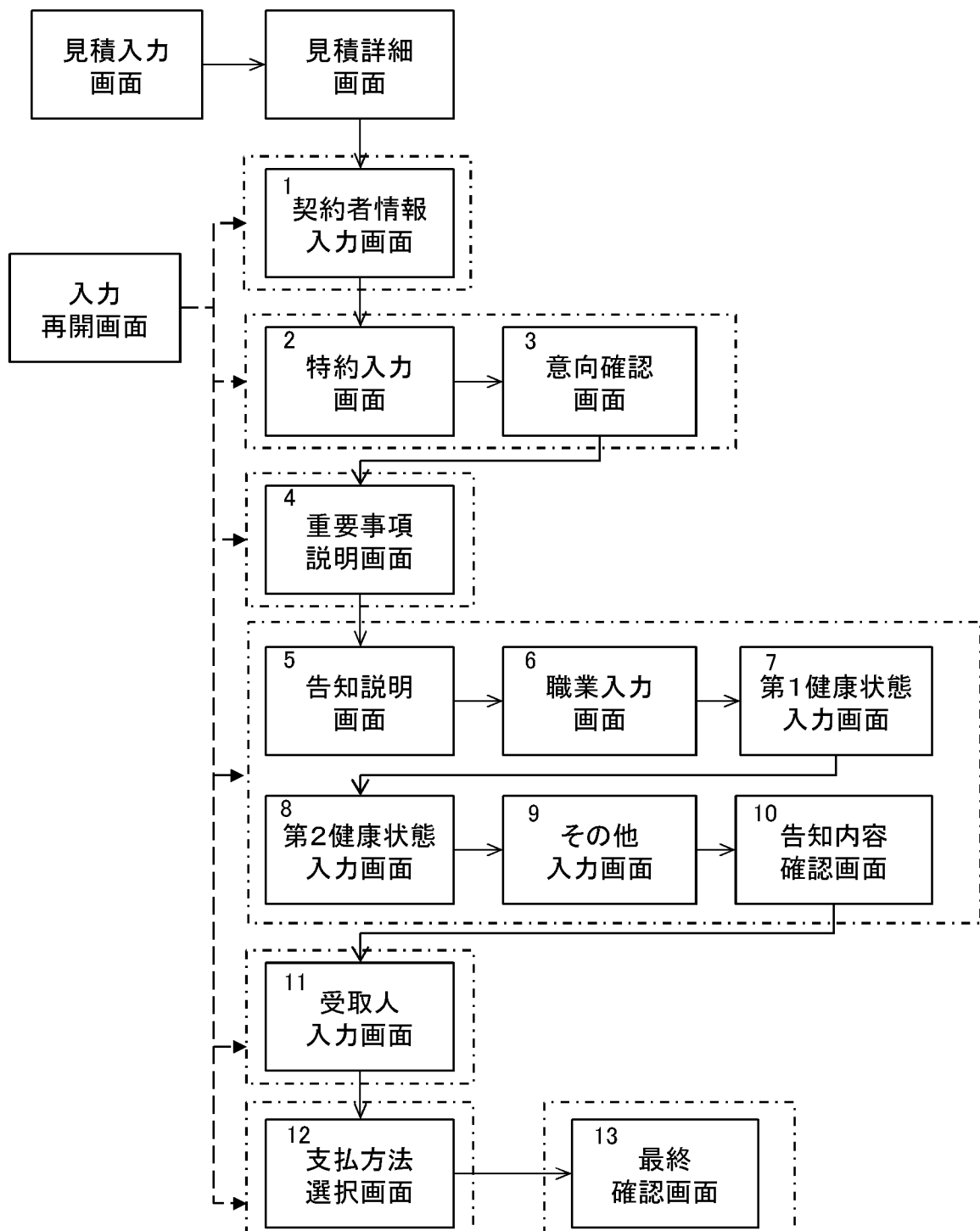
[図2]



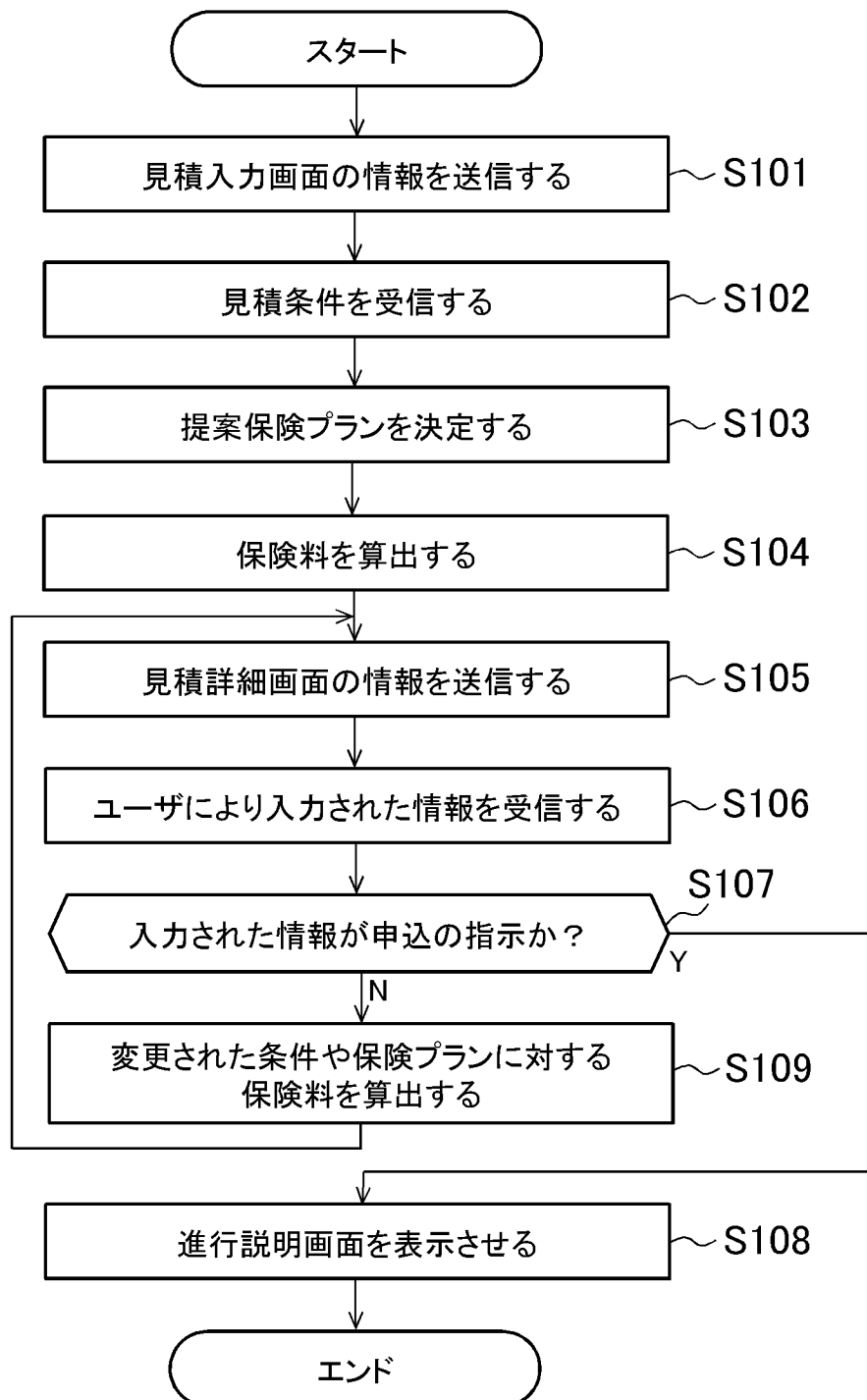
[図3]



[図4]



[図5]



[図6]

保険料の試算

性別 ☒ 男性 ☐ 女性

生年月日 1975 ▾ 年 5 ▾ 月 5 ▾ 日

月払保険料(合計)

7,600円

申込み 33

申込予定日 2013年7月1日 契約年齢(予定) 38歳

定期保険

保険金額

☐ 2,000万円 ☒ 3,000万円 ☐ 4,000万円☒ 月払保険料
3,000円☐ 1,000万円 ▾

保険期間 10年

保険金 死亡保険金または高度障害保険金

医療保険
基本

入院給付金日額

☐ 5,000円 ☒ 10,000円 ☐ 15,000円☒ 月払保険料
3,100円☐ 6,000円 ▾

保険期間 終身

給付金 入院給付金、手術給付金

医療保険
サブA

入院支援給付金額

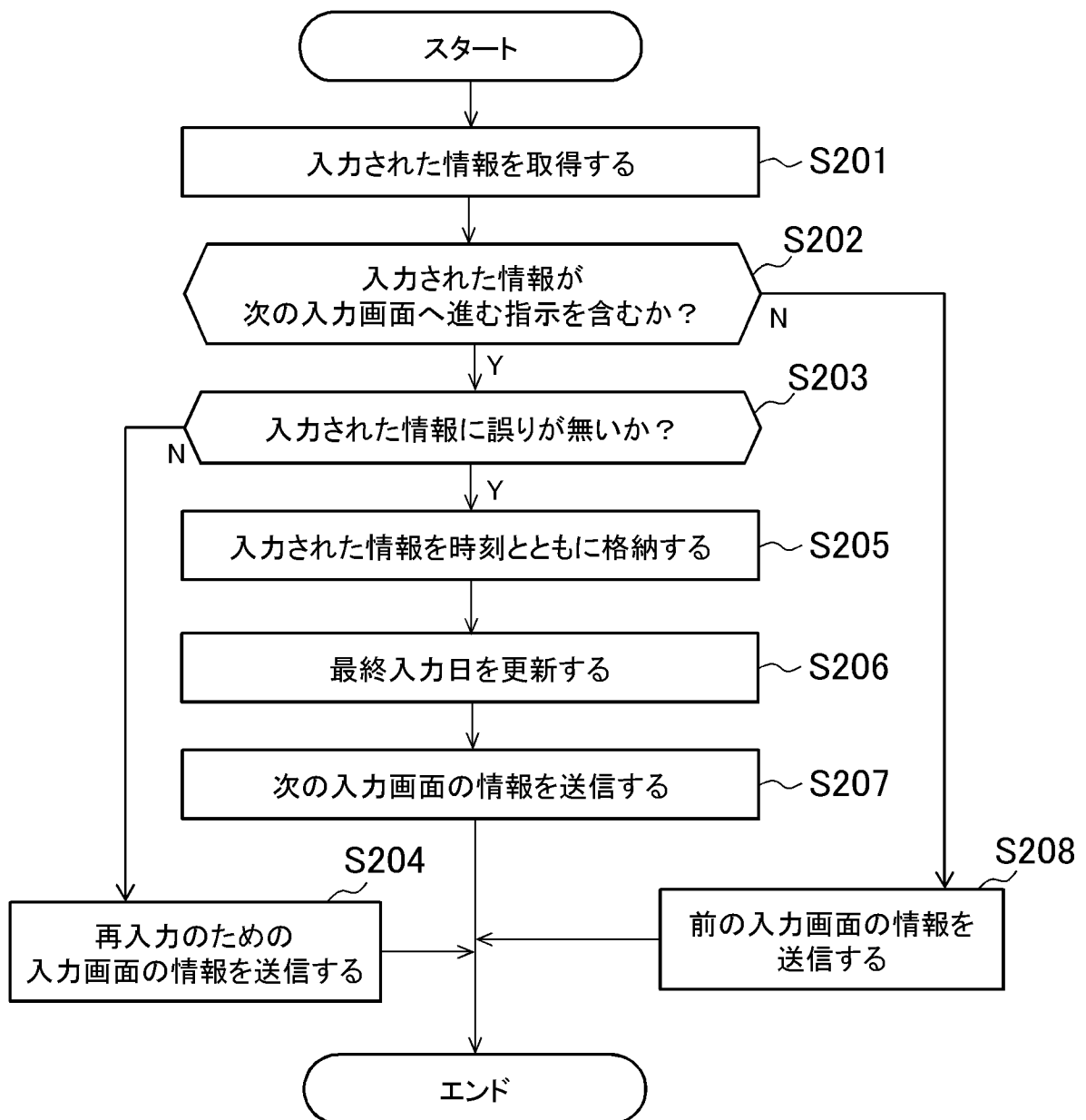
100,000円

☒ 月払保険料
1,500円

保険期間 終身

給付金 入院支援給付金

[図7]



[図8]

ユーザ ID	氏名	氏名 カナ	生年月日	性別	メールアドレス	住所	電話番号	入力日	最終入力日
k1022	楽天 太郎	らくてん たろう	1975年5月5日	男	taro@bbb.cc	東京都・・・	...	7月7日 19:10	7月7日
k1023	保陰 花子	ほけん はなこ	1980年9月10日	女	hanako@cba.ed	東京都・・・	...	7月6日 21:01	7月6日
k1024	山田 一郎	やまだ いちろう	1964年10月10日	男	yamada@xxxx.xx	高知県・・・	...	6月9日 18:00	6月10日

[図9]

告知:健康状態について(1)

現在の健康状態

1. 最近3ヶ月以内に医師の診察・治療・投薬を受けたことがありますか。 ○いいえ ○はい

過去5年以内の健康状態

2. 過去5年以内に、病気やけがで7日以上入院をしたことがありますか。 ○いいえ ○はい

3. 過去5年以内に、病気やけがで手術を受けたことがありますか。 ○いいえ ○はい

.

.

.

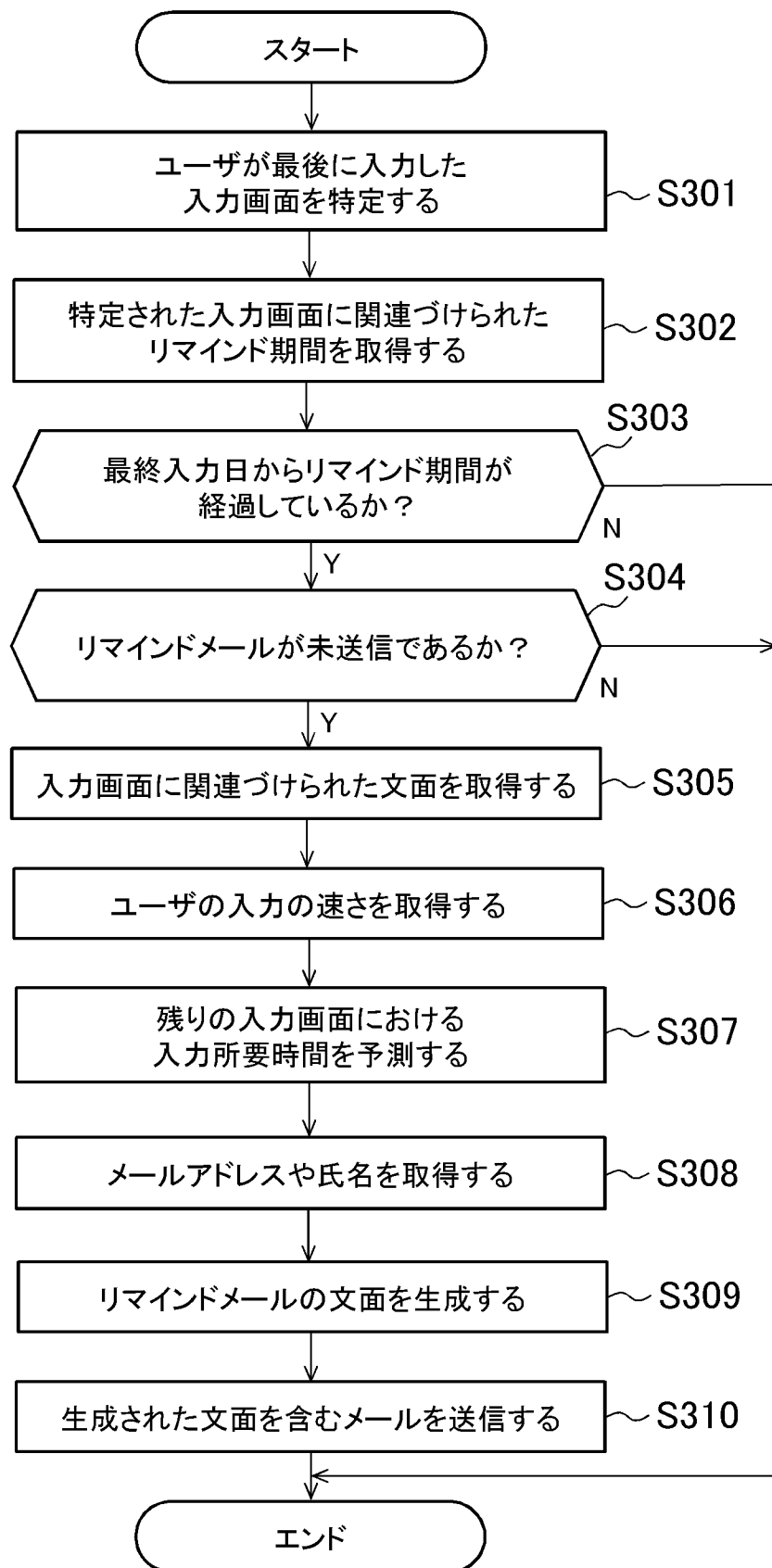
< 戻る

次へ >

[図10]

ユーザID	画面	入力項目	値	入力日時
k1022	意向確認画面	意向確認	確認済	7月7日 19:15
k1022	重要事項説明画面	契約概要確認	確認済	7月7日 19:22
k1022	重要事項説明画面	約款確認	確認済	7月7日 19:22
k1022	職業入力画面	職業種別	会社員	7月7日 19:24
k1022	職業入力画面	勤務先	XXX	7月7日 19:24
k1022	第1健康状態入力画面	健康状態1	いいえ	7月7日 19:30
k1022	第1健康状態入力画面	健康状態2	いいえ	7月7日 19:30
k1022	第1健康状態入力画面	既往症	貧血	7月7日 19:40

[図11]



[図12]

画面	文面ID	リマインド 期間	曜日条件	標準所要時間
契約者情報 入力画面	mail11	7日		3分
特約入力画面	mail11	7日		2分
意向確認画面	mail11	7日		1分
重要事項説明 画面	mail11	7日		5分
告知説明画面	mail12	3日	金土	2分
職業入力画面	mail12	3日	金土	2分
第1健康状態 入力画面	mail13	1日		4分
第2健康状態 入力画面	mail13	1日		4分

[図13]

楽天太郎様

この度は生命保険をご検討いただき、誠にありがとうございます。
ます。

ご検討の状況はいかがでしょう？

弊社の保険は、「お手頃な保険料」、「クレジットカード払い
でポイントがもらえる」を実現した生命保険です。

是非引き続きご検討いただけますようお願いいたします。

(FAQ)

- ・ 何歳まで保障がありますか？

医療保険の保険期間は一生涯の保障となります。

定期保険の保険期間は10年です。10年経つと健康状態
にかかわらず自動更新されます。

- ・ 保険金額はどのようにして決めればよいですか？

プラン選び <http://xxx.xx/...>

のページをご覧ください。

お客様にご検討いただいておりますプランは、以下のURLにて
ご確認、お申込みの再開が可能です。

申込確認URL <http://xxx.xx/applicant/>.

また、ご質問、ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ
合わせください。

=====

【電話でのお問い合わせ】

お問い合わせ先（コンタクトセンター）

フリーコール 0120-xxx-xxx

（受付時間：平日XX~XX時、土曜日XX~XX時）

【WEBサイトでのお問い合わせ】

<https://xxx.xx/support/.XXXXXXXXX>

=====

[図14]

楽天太郎様

この度は生命保険をご検討いただき、誠にありがとうございます。
ます。

お客様の健康状態についてご入力いただき誠にありがとうございます。
ます。

引き続き、当社指定の病気に関する病歴、およびお客様の
身長・体重、ご年収を確認させていただいております。

あと5分程度で入力が可能です。

ご確認・ご入力よろしく願いいたします。

(FAQ)

・医師の診査は必要ですか？

医療保険では告知のみで申込みできます。定期保険では、
年齢や保険金額によっては、健康診断結果のコピーの提出
をお願いすることがあります。

お客様にご検討いただいておりますプランは、以下のURLにて
ご確認、お申込みの再開が可能です。

申込確認URL <http://xxx.xx/applicant/>.

また、ご質問、ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ
ください。

=====

【電話でのお問い合わせ】

お問い合わせ先（コンタクトセンター）

フリーコール 0120-xxx-xxx

（受付時間：平日XX~XX時、土曜日XX~XX時）

【WEBサイトでのお問い合わせ】

<https://xxx.xx/support/.XXXXXXXXX>

=====

[図15]

申込み確認

申込み途中の商品があります

プラン: 定期保険 医療保険基本

ご契約者: 楽天 太郎様

申込み保存日: 7月7日

あと2ステップで申込み完了です。

申込みを
再開する

削除

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2013/070760

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06Q40/08(2012.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q40/08

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2013
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2013	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2013

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2013-502651 A (Metropolitan Life Insurance), 24 January 2013 (24.01.2013), paragraph [0051] & US 2011/0040582 A1 & EP 2467818 A1 & WO 2011/022225 A1 & CA 2771275 A1 & CN 102713960 A	1-6
A	JP 2006-048087 A (Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.), 16 February 2006 (16.02.2006), paragraph [0022] (Family: none)	1-6

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
20 August, 2013 (20.08.13)

Date of mailing of the international search report
27 August, 2013 (27.08.13)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q40/08 (2012.01) i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q40/08

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 3 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 3 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 3 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2013-502651 A（メトロポリタン ライフ インシュアランス カ ンパニー） 2013.01.24, 【0051】 & US 2011/0040582 A1 & EP 2467818 A1 & WO 2011/022225 A1 & CA 2771275 A1 & CN 102713960 A	1-6 1-6
A	JP 2006-048087 A（東京海上日動火災保険株式会社） 2006.02.16, 【0022】 （ファミリーなし）	

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

2 0 . 0 8 . 2 0 1 3

国際調査報告の発送日

2 7 . 0 8 . 2 0 1 3

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

関 博文

電話番号 03-3581-1101 内線 3562

5 L

9 8 4 4